

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)開催記念
修理後大公開！ 静嘉堂の重文・国宝・未来の国宝

[Special Exhibition to Mark the Osaka/Kansai Expo 2025] Newly Restored Masterpieces: A Fresh Look at Seikado's Important Cultural Properties and, National Treasures of the Present and Future!

2025年10月4日(土)～12月21日(日)

前期：10月4日(土)～11月9日(日) 後期：11月11日(火)～12月21日(日)

前後期でほぼ全作品入替



静嘉堂@丸の内・開館3周年となる本展では、静嘉堂ならではの東洋絵画の逸品が勢揃いします。**大阪・関西万博にちなみ**、20世紀初頭の博覧会に出品した岩崎家(静嘉堂)所蔵の琳派や肉筆浮世絵、近代絵画などを皮切りに、**国宝、重要文化財、重要美術品**、そして**未来の国宝?!^{きくちようさい}菊池容斎**の破格の巨大絵画が丸の内に登場します。**近年修理を終えて美しく蘇った室町時代の屏風や中国宋・元の掛軸**などの、水墨画ならではの筆墨の美や、見事な自然描写を、日中の作品を比較しながらご堪能ください。**詩書画が一体となった東洋絵画のメッセージ**を一步踏み込んで味わう機会となれば幸いです。

みどころ

- ① 知られざる岩崎家（静嘉堂）と博覧会の関わり
- ② 未来の国宝?! 式部輝忠「四季山水図屏風」など修理後初公開の重要文化財10件を一挙公開!
- ③ 未来の国宝?! 菊池容斎の2×1.5mの巨大掛軸
- ④ 静嘉堂の国宝! 宋元の書画と「曜変天目」

第1章 岩崎家（静嘉堂）と博覧会—1900年パリ万博から1970年大阪万博まで

日本が初めて万国博覧会に正式参加したのは1867年（慶応3）のパリ万国博覧会。「博覧会」という言葉も、慶応元年発行の公式文書にみる「仏国博覧会」が初出である。まさに岩崎彌之助の時代に成った「博覧会」に出品された文物は、いわばそれぞれのジャンルでの日本の代表である。岩崎彌之助は1895年第四回内国勸業博覧会、1900年パリ万博、1910年日英博覧会において熱心に「博覧会」に協力している。その遺志を継いだ小彌太も各種海外展に出品協力した。1940年財団法人静嘉堂となり、1970年の大阪万博でも、中国絵画・室町水墨画のコレクションから国宝1件、重文4件、重美2件、合計7件もの名品を出品している。⇒図版は4頁へ

第2章 修理後初公開! 詩画一致の絵画

東洋絵画には、しばしば画中に作者や作品に関わった人々の賛（題や詩文）が添えられている。これは中国の詩画一致（詩画同源）の思想によるところが多く、宋代以降、文人たちの間で、詩書画は三位一体で鑑賞されてきた。日本ではこの考えは室町時代の禅僧たちによる「詩画軸」「書斎図」に反映される他、江戸時代以降の文人画（南画）と共に隆盛する。興味深いことに静嘉堂の1970年大阪万博出品作は全て詩画一致の作品である。また静嘉堂所蔵の絵画の指定品35件のうち、詩画軸や文人画は17件を数える。

東洋画は、紙や絹に墨や染料や顔料を用いて描かれているため、百年に一度、手当を必要とする。（公財）静嘉堂では、貴重な文化財を後世に伝えるべく、指定品を中心に修理事業を継続している。修理後美しく蘇った画面を、詩と共に味わうことで、深遠な時空間を感じていただきたい。



中国明代の送別図

大阪万博（一九七〇年）出品／修理後初

図版番号1 重要文化財
倪元璐「秋景山水図」一幅
絹本墨画 明時代(17世紀)
※前期展示



書斎図の名品

大阪万博（一九七〇年）出品／修理後初

図版番号2 重要文化財
「聴松軒図」一幅 紙本淡彩
永享5年(1433) ※後期展示



送別図の名品

大阪万博（一九七〇年）出品／修理後初

図版番号3 重要文化財
「蜀山図」一幅 紙本淡彩
室町時代(15世紀) ※後期展示

第3章 未来の国宝?! 菊池容斎の巨幅と重文の水墨山水図屏風

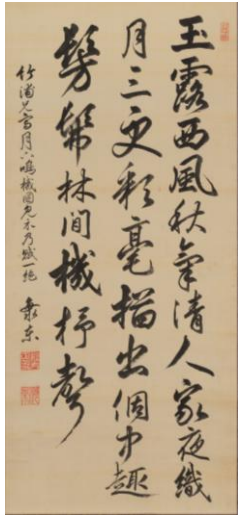
前期は幕末明治の画壇の重鎮で、明治中後期に隆盛する「歴史画」の先駆者・菊池容斎の巨幅と、中国明清時代の巨幅の競演。制作背景は異なるが共に大画面に中国古代の奇怪な説話（歴史画）を描いており、日本の文人趣味の人々に鑑賞され、岩崎家の所有に帰した。

後期は、近年修理を終えた二つの重要文化財の屏風、伝周文「四季山水図屏風」と式部輝忠「四季山水図屏風」の競演。四季の移ろいや山中での文人の営みが散りばめられる。居ながらにして山水に遊ぶ「臥遊」をお楽しみいただきたい。⇒図版は5～7頁へ

第4章 彌之助・小彌太の静嘉堂—未来の国宝と宋元の国宝

前期は主君に忠誠を尽した田原藩士であり文人画家・渡辺華山（1793 - 1841）の名幅「月下鳴機図」と、それを小彌太が丁寧に模写し、松方正義（1835 - 1924）が詩を添え双幅とした作品を紹介する。華山は幕末明治の日本人の憧れであり、岩崎父子も、その縁戚で総理大臣をつとめた松方正義もそのスピリッツに共鳴していたことは想像に難くない。

後期は南宋時代の国宝「風雨山水図」や、小彌太が父のコレクションを拡充すべく購入した国宝「曜変天目」、小彌太の漢学の師・諸橋轍次（1883-1982）に依頼して購入した国宝「与中峰明本尺牘」、彌之助が静嘉堂文庫の名を世界に知らしめた陸心源旧蔵の宋元版より「周礼」など、静嘉堂ならではの宋元の美術・古典籍で締めくくりたい。



参考図版
岩崎小彌太模
「華山筆《月下
鳴機図》」
松方正義賛
双幅
絹本着色、絹本
墨書
明治末～大正
13年
※前期展示



未宝の
国宝?!

図版番号4
渡辺華山「月下鳴機図」
一幅 絹本着色
江戸時代(19世紀)
※前期展示



大阪万博の年、1970年に
東博東洋館での東洋陶磁名
品展で展示される。

図版番号5 **国 宝**
「曜変天目(稲葉天目)」一口
建窯 南宋時代(12～13世紀)
※通期展示



静嘉堂指定品の
本格解体修理第一号の
見事な風雨の表現

図版番号6 **国 宝**
伝馬遠「風雨山水
図」一幅 絹本墨画淡
彩
南宋時代(13世紀)
※後期展示



元の文人・趙孟頫が高
僧・中峰へ内心を吐露
した手紙！
小彌太の習字の手本

図版番号7 **国 宝**
趙孟頫「与中峰明本尺牘」
一帖 紙本墨書 元時代
(14世紀) ※後期展示

みどころ1 知られざる岩崎家（静嘉堂）と博覧会の関わり 浮世絵・琳派・水墨画・工芸・そして同時代の芸術家の作品も！



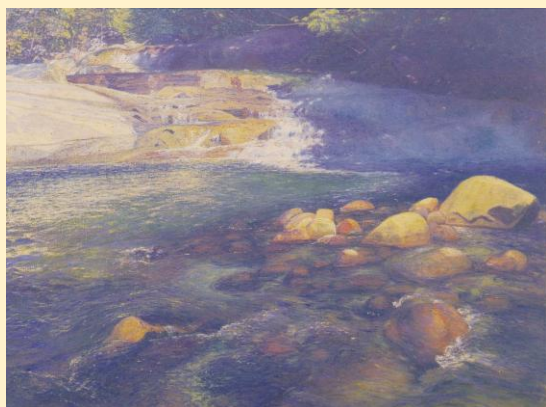
図版番号10 波斯敦(ポストン)日本古美術
展覧会(1936年/昭和11)出品！重要美術
品 酒井抱一「麦穂菜花図」双幅
絹本着色 江戸時代(19世紀) ※前期展示



図版番号8
金門(サンフランシスコ)万国博覧会日本
古美術展覧会(1939/昭和14)出品！
「色絵五艘船文鉢」
一口 有田
江戸時代(18世紀)
※通期展示



図版番号9
パリ万国博覧会
(1900年/明治33)
出品！
石黒是美
「花鳥図大小鐺 三
所物」
江戸時代(19世紀)
※通期展示



図版番号13 日英博覧会(1910年/明治43)出品！
山本森之助「濁らぬ水」一面 油彩・カンバス
明治42年(1909) ※通期展示



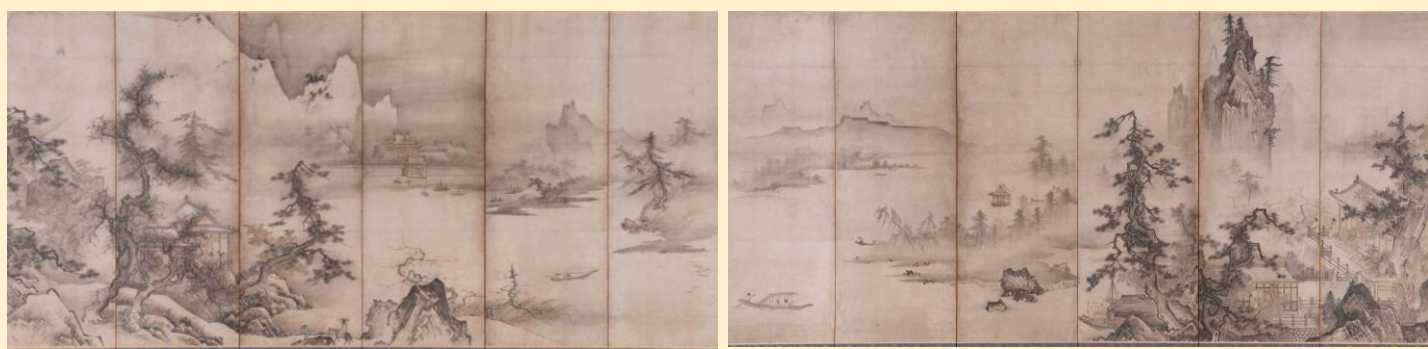
図版番号11 日英博覧会(1910年/明治43)出品！
宮川長春「形見の駒図」一幅
絹本着色 江戸時代(18世紀) ※後期展示



図版番号12
第四回内国勸業博覧会
(1895/明治28)出品！
日英博覧会(1910年/明治
43)出品！

野口幽谷
「菊鶏図屏風」
六曲一双のうち右隻
絹本着色
明治28年(1895)
※前期展示(後期左隻展示)

しき ぶ てる ただ
みどころ2 未来の国宝?!式部輝忠「四季山水図屏風」など
修理後初公開の重要文化財10件を一挙公開！
“臥遊”の愉しみ…そして詩書画を送る禅僧たちの交わり
周文と式部輝忠の屏風の競演も！



重要文化財 図版番号14 伝周文「四季山水図屏風」紙本墨画着色 六曲一双 室町時代(16世紀) ※後期展示



未宝の
 国宝?!

修理後初公開！16年ぶりのお披露目！

重要文化財 図版番号15 式部輝忠「四季山水図屏風」紙本墨画着色 六曲一双 室町時代(16世紀) ※後期展示

しゅうぶん しき ぶ てる ただ
謎多き水墨画家 周文と式部輝忠

周文は室町中期（15世紀前半）の画僧。号は越溪、字は天章。京都・相国寺の僧で後、室町幕府の御用絵師。生没年や真蹟が不明なものの、詩画軸の形式を完成させた他、屏風等の大画面においても、水墨山水の典型を作り上げた。弟子には雪舟、墨溪、岳翁など。

本屏風は「越溪周文」の印が捺され、伝周文「水墨山水図屏風」として知られる10件の中でも特徴的な画風で、宋元画、特に夏珪や孫君沢の筆墨法を能く学んだ跡がみられ注目される。

式部輝忠は室町後期（16世紀）、関東で活躍した水墨画家。仲安真康、祥啓ら室町中期の鎌倉画派を学び、小田原狩野派との密接な係わりを通じて狩野元信様式をとりいれ、独自の様式を形成した。

本屏風は稀少な山水図屏風。両端に険しい岩山を配し中景に島を描き、その向こうに遠景が広がる安定した唐絵の構図に、四季の移ろいに即して中国文人の故事が点景として描きこまれる個性的な作。

みどころ3 未来の国宝?! 菊池容斎の2×1.5mの巨大掛軸が揃って登場！
明時代の画家・謝時臣しゃ じ しんの四幅対との競演も！



御簾の向うに座り、手足を斬られる戚夫人を見るのは、漢の高祖の皇后・呂后。いかにも意地悪そう…



前漢の元帝を守るべく、脱走した熊の前に立ちはだかる勇気ある女性・馮媛（ふうえん）。

未宝の
国宝?!

図版番号16
菊池容斎「呂后斬戚夫人図
（りょうこうせきふじんをきるのず）」
一幅 絹本着色
天保14年(1843) ※前期展示

未宝の
国宝?!

図版番号17
菊池容斎「馮昭儀当逸熊図
（ふうしょうぎまさにくまをいっせんとすのず）」一幅
絹本着色 天保12年(1841)
※前期展示

容斎の歴史画の三大名幅と依頼者・久貝因幡守正典

く がい いな ぼの かみ まさ のり

秦の始皇帝が宮女三千人を置き遊樂した大宮殿・阿房宮に、秦を滅亡させた項羽が火を放ち三日月燃え続けた：

未宝の
国宝?!

図版番号18
日英博覧会
(1910年/明治43)
出品！
菊池容斎
「阿房宮図」
一幅 絹本着色
江戸時代(19世紀)
※後期展示



きく ち よう さい

菊池容斎

(1788～1878/天明8～明治11年)

幕末、明治初期の日本画家。名は武保。通称量平。江戸の与力を代々務める家に生まれたが、1825年(文政8)、西丸御徒の役を退き、絵画制作に専念。狩野派の高田円乗に師事し、のち土佐派を学び、探幽、応挙の画風を慕う。復古思想に影響され、明治元(1868)年、明君忠賢烈士500余人の画像を描き集めた『前賢故実』10巻を上梓、さらにこれを明治天皇に献上。同8年に「日本画士」の称号を受ける。歴史的主題を表現する分野を開拓し、近代歴史画の先駆となった。門人に松本楓湖、渡辺省亭など。

く がい まさ のり

久貝正典

(1807～1865/文化3～慶應元年)

五千五百石の旗本で、先祖は下谷白泉寺の開基であるなど資力のある家に生まれる。通称は甚三郎。号は養翠、諏養堂。天保9年従五位下因幡守となり、同12年大番頭。のち、大目付、側用取次などを勤める。安政の大獄の際、一時免職となる。和歌をよくし、また萩原広道『源氏物語評釈』に序を寄せ版行に尽力するなど国学者とも交流した。容斎は生涯「自分が今日あるのは久貝殿の賜である」と感謝した。

中国・明時代以降、巨幅の山水画に説話を描いて対幅とする例が！
このような中国画を容斎は知っていたのではないか???



参考図版 謝時臣「四傑四景図」絹本淡彩 四幅対 嘉靖30年(1551) ※前期展示

しゃ じ しん

謝時臣

(1487～1557以降/成化23～嘉靖36年以降)

明代後期の画家。同時代の文人たちとも交流があるが、基本的には職業画家であったと思われる。「四傑四景図」は中国の四人の英傑(春秋戦国時代の蘇秦<BC317没>)、前漢の宰相・朱買臣、前漢の韓信、北宋の宰相・呂蒙正)の苦難の時代を描いた作。

アーティストワークショップ フォトモで重文・明治生命館！

* 明治生命館をデジカメやスマホで撮影した写真プリントをハサミで切って立体的に構成する「フォトモ（3D写真の一種）」を作ります。

日時：①10月12日（日）、②10月13日（月・祝） 各日13時～17時

講師：糸崎公朗氏（美術家・写真家）

会場：明治安田ヴィレッジ「明治安田ギャラリー」

持物：デジタルカメラまたはスマートフォン

参加費：5000円（本展入館券を含む）、定員：30名 要予約



講演会「絵画修理の現在（いま）」

日時：11月30日（日）14時～16時

基調講演：綿田稔氏（文化庁主任文化財調査官）

討論：下田純平氏（株式会社半田九清堂）

宇和川史彦氏（株式会社半田九清堂）

司会：当館学芸員 吉田恵理

会場：明治安田ヴィレッジ「明治安田ホール」

参加費：無料ただし要本展入館券、要予約



「聴松軒図」修理前 →



修理後

開催概要

展覧会名	2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）開催記念 修理後大公開！ 静嘉堂の重文・国宝・未来の国宝
会 期	2025年 10月4日（土）～ 12月21日（日） ※前後期でほぼ全ての作品入れ替え 前 期 10月4日（土）～ 11月9日（日） 後 期 11月11日（火）～ 12月21日（日）
会 場	静嘉堂文庫美術館（静嘉堂@丸の内）
住 所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1 明治生命館1階
主 催	静嘉堂文庫美術館（公益財団法人 静嘉堂）
休 館 日	月曜日（ただし、10月13日、11月3日、24日は開館） 10月14日（火）、11月4日（火）、25日（火）
開館時間	午前10時～午後5時 第4水曜日（10月22日、11月26日）は午後8時まで、 12月19日（金）、20日（土）は午後7時まで開館（予定） ※入館は閉館の30分前まで ※毎週木曜日はトークフリーデー
入 館 料	一般1,500円 大高生1,000円 中学生以下無料
問い合わせ	TEL 050-5541-8600（ハローダイヤル）
ホームページ	https://www.seikado.or.jp X: @seikadomuseum Instagram: seikado_bunko_artmuseum

【報道に関するお問い合わせは】

◆静嘉堂文庫美術館 広報事務局（共同PR内 担当：三井）

※在宅勤務も増えているため、メールでいただくと助かります。

E-mail: seikado-pr@kyodo-pr.co.jp / TEL. 03-6264-2382

〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア10F

◆静嘉堂文庫美術館 E-mail: press@seikado.or.jp（広報担当：大森）

展覧会担当学芸員：吉田恵理